

タンパク質同定受託解析のお知らせ

平成 28 年 5 月 17 日

日頃より施設運営にご協力頂き誠にありがとうございます。

この度、実験実習機器施設では質量分析装置を用いたタンパク質同定（ペプチドマスフィンガープリンティング）の受託解析を始めることに致しました。（学内のみ）

受託の内容はお預かりしたサンプルをゲル内消化し質量分析、データベース検索を行い、結果をお返しいたします。

但し、本受託解析におきましては、事前に詳細を打ち合わせの上、依頼書（様式 6-1；実験実習機器施設ホームページからダウンロード可能）を提出して下さい。

また、本受託解析では原則として下記の条件で調製した試料を提出して下さい。

- 一次元または二次元電気泳動を実施後、CBB 染色を行った SDS-PAGE ゲルから切り出したタンパク質バンド（染色液、サンプルチューブは施設よりお渡しします。）
- 電気泳動ゲル全体の染色写真（サイズマーカー含む）も添付して下さい。

注意点：

操作中に他のタンパク質や分解酵素の混入、人体からのケラチンの混入を防ぐために下記の点を厳守して下さい。

- ① 電気泳動用ゲルやバッファーは質量分析用として新しく調製する。また、電気泳動時には手袋、マスクを着用する。
- ② ゲルの染色は専用の容器を用いて行う。
- ③ タンパク質バンドの切り出しは手袋、マスクを着用し清潔なディスポナイフを用いて行う。

料金は、1 回 1 サンプルを 10,000 円（消耗品費含む）とし、1 サンプル追加につき 1,000 円加算します。また、別途 MALDI-TOF/MS 機器使用料が必要です。

依頼サンプルと同時にコントロールサンプル（BSA）の解析を行い、依頼サンプルの結果が出ない場合でもコントロールサンプルの同定ができていれば、料金を請求させていただきます。

納期は 2 週間程度を目安にしております。

本解析に関するお問い合わせは担当職員：森澤（PHS:36735）までご連絡くださいますようお願い申し上げます。

実験実習機器施設